

二年生分散会B

自己紹介

意見交換

司会者① テーマは「解放運動の担い手としてどう生きるか話し合おう！」ですが、これ以外でもかまわないので意見をどんどん出しましょう。誰かありませんか。

司会者② 自分の身のまわりのことで悩み事とか困ったことがあると思うから、それをみんなで話し合つて意見交換したいんで、何か悩み事とか考え事がある人は意見を言つてください。

大麻中F 今までずっと続けてきてるんだけど、二年生の初めの頃にある一人の人がぜんぜんといつていいほど学習会に来なくなつて。それまではずっと来てたんだけど何回も呼びに行ったんよ。だけど「寝とる」とか、「風邪ひいとるけん休む」とかそんな理由ばかりで、ずっとそんな理由ばかりだから嘘だつて分かつてきたんよ。理由聞くにしても学校に来んし、家に行つても会わせてくれんけん話もできんのよ。今も誘つてるんだけど、そ

れで困つてるからどうしたらいいか教えて欲しい。別の自分の悩みでもいいので、発表してください。

板野中K 言にくいなあ。こういう雰囲気言にくいけん、もう少し……。何か今しよることが分かん……。。

司会者② 学習会のメンバーで、今悩み事とかなかったらそれでいいんやけど、あると思うんよ。だから悩み事でもいいし……。

僕の学習会で、ある一人の子が二年生の頃からずっと来てないんよ。今その子三年生なんやけど。何回か誘いに行つても同じ理由で来ないし、この会にも誘いに行つたけど来てくれんし、もうどうしていいか分かんんよ。板野中K 学校に来よらんのか？それとも学習会に来よらんの？

司会者② 学校も学習会も。学習会はほんまに来よらんよ。学校も三年生になつたら……。学習会に来るようにするにはどうしたらいいか分かんんやけど、その解決方法でもいいし、みんなの学習会での悩みでもいいし、学校の方でもいいから……。

応神中 応神でも同じようなことがあって、中二くらいから来なくなつて、学校には来ないんだけど、学習会には

ちやんと来るんよ。部活にもちやんと行って。最近
は学校に来るようになったんだけど、朝は遅れて来てい
ます。

司会者② こないだ学習会でその子のことを話し合ったん
だけど、来れる雰囲気を作ったら来れるんじゃないかっ
て。じゃあ「来れる雰囲気ってどんな雰囲気？」ってな
るんだけど、分からんだろ？俺もよく分からんのやけど、
さっきも全体会で「来れる雰囲気」が出来たら来るんじ
やないかって言ってたけど、でもそれをどう作っていい
か分からんし……。

板野中K 僕も「来れる雰囲気」って何だろうってよく考
えるんだけど、「来れる雰囲気」って特別なものではな
いと思うんよ。たまたま教室にいて楽しいときあると思う
んだけど、いやすい、いて楽しいようなクラスを作ると
いうか、普通にやったら一番なんだけど……。もし今
学校に来てないという子がおったときに、来てない子は
学校に不満があるか、楽しくないからだと思うんよ。そ
の子がもし学校に来たときに、「暗い」とか言ったり、
その子に全然話しかけんとかいうような感じでその子を
見てたら、よけい来なくなると思うけん、もしその子が

来たかどうかというのを考えんといかんと思うんよ。
来たときに楽しいと思ってくれたら、次も来てくれると
思うんよ。応神の子が言よった、部活と学習会に来る子
は、たぶん部活と学習会が楽しいから来てると思うんよ。
だから、教室の中でも「楽しい」とか「ずっとおりたい」
という雰囲気みたいなものを作らないと。みんながみん
な話し合えるような関係だったら心配ないんだけど、そ
の子を特別なような目で見たららむこうも気を使うから、
普通に接していくのが一番だと思う。Mくんよく分から
んかった？分からんかったら分からんかったって言って
くれよ。

司会者② ときどきというか、来たときはだーって話をす
るんだけど、ある特定の子としか話をしない。決めつけ
たらいかんけど、その子は嫌われてるんじゃないけど、
話しにくいというのがあって、実際にそう言う子もおる
し、話をしたくないという子もおる。もうどうしたらいい
か分からんのやけど、あきらめずに呼びかけとかして
るんやけどな。気持ちが伝わらんというか、仲良かった
からなあ……。難しい。

板野中K 僕が思うに、がんばってる気持ちは相手に伝わ

ってると思うけん、その子が来たときにどう接するかだけの話だから、毎日来るようになるには時間がかかると思うけど、来たときにどうするかだけ大事だと……よく分からん……僕らばっかり言ってるから他の人にもまわしてあげて。

(不明) 今はもう解決しているんだけど、来なかった子がいるんですよ。ねばったんです。私強制的な人間なんですよ。だから「来な！」って言って。私が学習会の時間に親と一緒に迎えに行ったら「行こう」ということになって。いまだに、昨日もそうなんですけど、迎えに行つて「楽しかったなあ」とか言ってくれるんですけど。ねばったら……私の場合はねばりすぎというところもあるんですけど。もう一人、中二の二期からいまだに学校にも来ていない子がいて、家が近いので迎えに行つたりしてたんですけど、中学校はそのままで土成に引っ越してしまつたんですよ。その子のことで今すごく悩んでいます。

高校生M 第一回目の実行委員長をやらしてもらつたMです。僕らが中学生のときにもみんなが悩んでいるように人数が集まらなくて、僕が行つていた会場でも三人がや

つとという状況だったんです。そこで僕らがやったことは、今がねばってる子とがねばってない子がおつて、とりあえずがねばってる子だけで集まつて、なんで自分が学習会に行つてるのかを話し合つて呼びかけをするようにしたんです。でも僕自身の中にも、がねばってる子だけでいいんじゃないかという思いもあつたし、でも自分で切り放して、あの子はあかんわつて思つてたりしたこともあつたけど、やっぱり学習会のある意味とか考えていたら仲間はずれで大事だとうことが分かつてきて、そういう話し合いの中で第一回の中学生集会ができたんです。かたくならんとんでも言つてみた方がいいと思つてます。自分が間違つてもいいと思つてます。間違つてたらそこで誰かが「おまえちよつとおかしくないか」って言ってくれるし、みんな気づいてなかつたら僕らもいるし、僕もいっしょに考えていくし。安心して発表できる雰囲気を作つていかないといいと思うんですよ。今はとりあえず、今の学習会の状況を自分が思うとおりに語つていって、どうしたらいいかというのをみんな考えていきましよう。

司会者② 今先輩が言つてくれたんやけど、悩み事とか言

ってくれないと、僕らが解決する方法を考えていかないとなくならんでえ。悩み事を言ってみんなで考えていきたいと思います。さつき僕が言ったことについてでもいいし。

美馬中 美馬中でもずっと学校に来てない子がいて、理由もよく分からなくて、会ったら「来ない」といつてるんだけど、ずっと来てないんです。

司会者② 似たような悩み事でもいいし、他にありませんか。

高校生S えっと、僕も第一回の中学生集会に参加した者です。学校に来れない、来づらい子がおるといふのをみんな言ってくれてるんだけど、僕が、今は解決してる話なんだけど……。中一の時に一人の子が、どういう理由で来んようになったかは知らんけど、ずっと家で閉じこもったまんまでおったりとか、昼休みから来たりとかっていう感じで。どうしたら行けるんだろうかと考えて。でも本人が学校に来んかったら話もできんし、どうしようかどうしようかって言うばかりで。それで行動に出たのが、一人の男の子が毎朝その子の家に通い続けて、ちよっと話をして「あとから遅れてきてもいいから

来いよ」という感じでそれを続けてたんやけど、それでもなかなか来なくて。まあこれはいい例ではないと思うんだけど、しまいには話をしに行ってる子まで遅れるようになってしまった。そのときに学校に来んかった子をAくんとして、朝迎えに行っていた子をBくんとしてください。Bくんはその子を迎えに行くがために学校に遅刻してくる状況だったんだけど、あるときAくんが、Bくんが学校に遅刻していることに気づき始めたんですよ。そしたらAくんもBくんのためだったら学校に行くみたいな感じになって。そういう友情というか、ドラマチックというか、ドラマを見てるような感じでええなあと思うたんやけど。そういういいようになったらいいんだけど、そこまでだいたい時間がかりました。それがひとつと、僕が中三の時に学校には来るんだけど、授業には出ないという子がいました。合唱コンクールで練習してるのにその子が抜けたりしてみんなに迷惑をかけて、全然進んでいかんという状況があったんですよ。僕自身もこれはやばいぞと思って。みんなが合唱コンクールというひとつにならないといけない場でひとつになれないのは、絶対にいい歌が歌えないと思ってその子を誘おうとしま

した。でもその子との関係は表だけのつきあい、むこうが何か言って僕が都合のいいことばかり返してほんまのことは自分の中に隠して。気を使いながらの関係だった。その子と僕は小学校からいっしょだつて、その子が何か悪いことをしても注意できなかったり、あの子だからしようがないって見放していたことがありました。合唱コンクールでみんなが一生懸命してたら大丈夫だといって、普通中とかになったら人前で歌うのが恥ずかしくて恥ずかしくてしようがないだろ。でも霧困気を盛り上げていったらとみんな考えて、恥ずかしさも忘れて五、六人で声を出して出してしました。そしたら周りの子も声が出てくるようになって、そしたらあんまり参加してこない子もその霧困気に入ってきました。周りの霧困気というのはすごく大事で……：僕自身が体調を崩して脱水症状を起こして入院してしまつて、合唱コンクールに参加できなくなつて、どういふ結果に終わつたか分からなかつたんですけど。順位的には良くなかつたんですけど、霧困気的にはすごく良かった。練習で積み重ねてきたことが舞台の上でひとつになつて、クラスがまとまるという形になりました。

学校には来てるけど学習会には参加しづらい子がいたとして、友達でもなんでも僕が急に来て「学習会に行こう」とか言つてもそんな思ひとか伝わるはずはないと思うんですよ。ふだんの生活の中でどれだけ関わつていくかによつて変わると思うんです。気の使い合ひをしてもおもしろくないと思うので。その子がもし学校に来たりとかそういうタイミングを見計らつたり、話の内容にしても重苦しい話をするのじゃなしに、相手の好きそうな話をしたり、相手と話が出来るときにいい霧困気で関わつていける状態を作るのが一番と思います。その霧困気というのは……：むずかしいけど……：きつかけかな。いろんなきつかけを大切にしたらいいと思います。

司会者② 学校に来れてない子について考えてきて、今高校生の先輩が言つてくれたけど、重い霧困気で話をするのじゃなくて、来たときにどう接していったらいいのか考えていきたいと思ひます。誰か意見ある人は言つてください。

司会者① 学校に行かん子のことについて。こいつは本当は学校が好きで好きでたまらんのやけど、学校の先生に、本人も悪いんやけど、その先生から一方的に言われてこ

の前まで学校に来てなかった。僕もそいつがおらんかったら学校に行つてもしんどいけん、朝迎えにそいつのところに、行つて、「いっしょに学校行かんか」つて。でももしその先生が来たら、こいつは絶対逃げて行くんよ。でも帰つても僕のボケベルに「明日また迎えに来てよ」つて入るんよ。もう一人学校に来たり来んかったりするやつがおるんやけど、そいつに対しては何にも言わんのよ。でも僕の友達には「お前もう来んでええわ」みたいなのを言つたり。とにかくそいつがおらんかったら学校へ行つても僕一人だから。ほんまにいっしょにおつても楽しい仲間がおらんけん。そいつが来んようになつて僕も生活習慣が乱れてきて三時間目登校したりとか、学校行つてもしんどいか親に言つたりして。けど「今の社会は学歴やから、高校行かんでどうするん？」つて言われて。ホンマは行きたくないんだけど親に言われるけんしょうがないから行つてる。

板野中K 思うんやけどな、学校が楽しくない楽しくないつて言うけど、毎日毎日誰かが楽しくしてくれるわけないで。自分で楽しくせないかんのに。だいたい一日の始めつて何にもないけん楽しいはずないんよ。朝起きた瞬間

間「楽しい！」つて思うか？「あ、今日こつつい楽しい」なんて思うか？絶対思わんぞ。

司会者① 思う日がある。

板野中K 学校に行つてみると楽しいかどうかなんて絶対

分かんと思うんやけどなあ。

司会者① でももう行きたくないのに。僕自身がもう行き

たくないという心になつてるのに。

板野中K 誰も学校に行きたいと思つて行つてないぞ。みんなしょうがないと思つて行つてる。

司会者① 僕は今、親のために学校に行つてみたいなもの。

板野中K 親が学歴がどうやこうや言うけん。

司会者① しょうがなくとも来たらええやん。

司会者① もしも行つてな、しんどい奴がおるぞ。

板野中K しんどい奴つて誰なん？どんなんがしんどい奴

なん？

司会者① 僕のクラスに来たら分かると思つて。

板野中K 二人で楽しいにしたらいいんで。

司会者① そいつがな、「教室に入るんいや」つて言うん

よ。そいつの相手して一緒にさぼつたりしてる。授業受

ける気もあるんだけど……。

板野中K あるんだったら受けたらいいんで。

司会者① けど授業受けてたらすぐ切れてしまふんよ。

板野中K いつもいつも切れてるん？

司会者① 抑えよう、抑えよう思いながらもその先生が僕

を馬鹿にしたように思えるんよ。

司会者② ちよつと言いたいことが分かんけんもう少し

しぼってくれたら。

司会者① 学校は楽しいと言っていた僕の連れが、三年生

に入つて来んようになったんよ。行く気はあるんやけど、

「行くんいや」とか言うてな。俺が誘いに行つて一緒に

行つてたんよ。それでとりあえず学校に来よつたけど、

授業さぼつたりもしてた。そいつも頭茶色にしたりとか、

制服も違反の着たりとかして、ある先生に注意されるん

やけど一方的にやられるだけで、他の奴には何も言わん

とそいつにはばかり言うんよ。

板野中K 注意されるのがいやだったら最初つから注意さ

れるようなことせんかったらええやん。

司会者① 違ふんよ。その先生自体みんな好かんよ。

(不明) 学校にすくおもしろい友達がおつて、今日も学

校入つたらその子が笑わしてくれるなあつて思つたら学

校行くのも楽しいし、もつといっぱい友達作つたほうが

いいと思う。先生に一方的に言われるのも、その子が規

則を守るようにして、それでも先生が言うんだつたら抗

議したらいいと思います。

司会者① ただ単に体罰なんよ。一方的にするんよ。大し

たことでないのに殴つたりけつたりするんでよ。

板野中K そんな先生おるか？

司会者① 分かんんの？僕その先生に殴られたよ。その先

生に。ただ単に掃除の時間さぼつてたんよ。そんで女の

先生に注意されて「分かりました」って掃除しに戻ろう

としてたんよ。そしたらその先生がきて「お前ら何しよ

んな」って言われて掃除しに戻ろうとしよることを言お

うとした途端に、思いつきり殴られた。変だろ。その先

生変だろ。僕は女の先生に怒られたことを言おうとした

そのときに殴られたんよ。

板野中K どこを？

司会者① 顔よ。

(不明) それつてやばいよ。それつて校長とかに言うべき

やと思うんだけど。

司会者① その先生は校長にも相手にされてないと思うん

よ。うちの校長もおつてもおらんでも一緒やけど。

板野中K そんなこと言うたらあかんわ。

司会者① 掃除に行こうとしたのに、どうして聞いてく

れんのかと思うんよ。

板野中K その先生に言わなかったん？

司会者① 言わなかった。

板野中K なんて言わなかったん？

司会者① 言わんと他のところに行つた。

高校生S あのな、M(司会者①)くんが変わつたらその先

生も変わるんじゃないかと思う。

司会者① 変わったよ。ちゃんとしてるんよ。してるけど

その先生が何か言うんよ。

板野中K ずっと先生の文句言ってるけど、先生の文句言

う前に自分で先生を変えようとせんかったん？

司会者① それよ。ケンカしたなかでも言つたんよ。僕ら

はこうこうしてほしいって。先生は授業をしてくれて、

僕らは聞いて覚える側で。それで先生は一人で授業して

るんよ。何も聞かんけんな。これ分かるかとか、もう一

回説明したとかないけんな。切れたんよ。先生ここで

うするんって。何もいわんけんな、立って先生の前に行

って、一方的に言いよつたんよ。そしたら先生が「俺は
どうしたらいいん？」って。僕が言いよること聞いて

ないんよ。僕ら授業受けても分からんかったら意味ない

でえ。その先生は授業を一人でして、たまたま横におる

友達が「あの先生何言いよるか分からん」って言つて。

とにかく授業が早くて、「先生分からん」って言うたん

よ。「何が分かるのな」って言いだしてな、「先生の

授業の進め方が分からん」って言うたんよ。それからい

ろいろ言い合ひして意味分からんようになって僕は逃げ

出したんよ。

板野中K なんて逃げ出すん、もう少し……。

司会者① うつとうしかつたもん。

板野中K もう少し言うつたら大丈夫やったんちゃうん。

司会者① 3回言うたよ。

板野中K 僕らだけこういう話してもみんな分からんから。

司会者② 学校に来ん子の話をしましょう。元に戻つて。

高校生Y 暴走しすぎぞお前ら。

板野中K どうにかしてこの場を盛り上げようと努力をし

よつたんですよ。

高校生Y 話変えるけん。みんな自身にとって解放運動と

は何かつていうことなんだけど。僕は中一の時から言っていたのが「仲間づくり」。絶対、仲間づくり。僕は死ぬまでにな、その目標はな、どれだけ仲間を増やせるかっていうのが死ぬまでの楽しみ。長いだろう？前は、きれいごと言うたりとか、先生に誉められたりとか、そんな思いで部落問題学習やってたんだけど、実際自分が「部落」の人間やつて知ったときに、きれいな事ではダメだし、ホンマに命がかかるとるで。みんなそれぞれあるでえ、ちよつと知識があつたら差別を受けたときでも対処できたりとか、仲間と相談したりとかできるけど、それができん人は自分に負けたりして、自殺とかしてしまふでえ。そういう例だつていっぱいある。やつぱり僕らだつて命をかけるというか、自分だけが良かったらいいという世界ではないと思う。前に書いてある「ともに燃やそう解放の炎」つて。今日集まつてるんだつて、あれの元に集まつてるわけだろ。あれがみんな自身、中学生のスローガンなわけで。やつぱり自分たちで作つたスローガンには自分らで応えていかないかと思うんよ。それでみんな自身の部落解放は聞いてみないと分からんけど、僕自身は仲間づくりというのをいつも頭に入れて、一生

のスローガンという感じでこれからも生きていこうと。みんなの部落解放つてどんなのか聞いてみようと思つて言うてみました。

司会者② 解放運動つて僕らにとつてどういう意味あいがあるのか話し合つていきたいんだけど、やつぱり差別とかなくすには一人では難しい。以前の僕は「何でも一人で出来るわ」つて思つてた。でもクラスの仲間の力が必要つて分かつたんよ。今これだけで話しよるけど、他にもまだいっぱいおるで。僕らのこの（壇上に掲げてあるスローガンを指さしながら）仲間が。今ここにおるみんなで出来ることもあるだろうし、出来ないこともある。でもそれぞれにまた仲間がおるから、その人たちの力を合わせたらすごい力になるなつて。

板野中K まあ、僕らにとつての部落解放ということ言わせてもらうんだけど、僕が思う部落解放というのは、僕らがこうして集まつてるけど、ここで集まつた人だけでなくすことは出来ないと思うんよ。なくそうという意識はみんなにあると思うんよ。けどまだそういう場面に会つてない。その時に、たぶん社会に出たらいろんな差別にあうと思うけど、その前にもし差別を受けるよう

なことがあったときに、その悩みを言えるような仲間づくりが、今僕たちに行ける部落解放運動だ。

(不明) 私は、みんなに働きかけるのも大事だけど、まず自分がしっかりしていないとなかなかできない。例えば、自分の中にもしかしたら差別心が残っているかもしれない。もしそういうことがあったとしたら、その差別心を隠すのではなくて、ちゃんと表に出して抹消してしまえるような感じ。とにかく自分がしっかりしてさえいれば周りに呑まれることもないし、差別することもないと思うから、まず自分自身を変えていかないと、なかなか完璧な人間にはなれないけど、とにかく自分を作りましよう。いい感じで。それが一番手っ取り早くというか、今すぐにでも出来る解放運動かな。

(不明) 僕にとつての解放運動は、差別をなくすのはまだ早すぎるから、さっきも言ったようにどんなことでもいから、一歩ずつ一歩ずつ前進して差別をなくしていくことが大事だと思います。

司会者② 確かに自分がしっかりしとつたらいけると思うんだけど、いざとなつたら、自分がどんなにしつかりしとつても、一人だつたら……例えば自分一人以外はみ

んな差別者とするで。いくら自分が正しくても負けると思うんよ。いくらしつかりしとつても、呑まれてしまつて自分が差別者みたいになつてしまう。だからいくら自分がしつかりしとつても、まわりに差別心を持つてる人がたくさんいたら、僕はたぶん呑まれていくと思うけんな。呑まれるつてことは、差別する側になるつてことかな？分かんようになってきた。誰か教えて。

(不明) 自分が負けたらそれで終わりでしょ。

司会者② 一人だつたら負けるでしょ。決めつけたらいいけんけど、たぶん負けると思うんよ。だから、それを支える仲間が必要。例を出したら長くなるんだけど、ずっと前に一人になつたことがあるんよ。具体的には忘れてしまったけど、一人になつたことがあつたんよ。その時に悪い方に呑み込まれていきそうになつたんやけど、その時支えてくれた仲間がおつたんよ。一人では負けるというのを一回経験しとるから、仲間がおつたら引き留めてくれるというか、支えてくれるし、差別に負けんように努力する仲間になるうつて努力していつたら負けんと思う。やっぱり仲間づくりだと思う。

板野中教員 仲間づくりの話で、仲間づくりができてきた

ときに、その中に差別的なことを言う子が出てきたとす
るでえ。自分以外の子も「そうや、そうや」って言って
話が盛り上がってきたとするでえ。どうする？

板野中K それちゃんと言うてやらんといかんでしょう。

板野中教員 言える？

板野中K それ言わんかったら友達じゃないでしょう。

板野中教員 うん。理屈はそうなんだけど、実際言えるか

どうかってこと。すでに仲間づくりができてるとんよ。

板野中K 言えるかどうか分からんけど、言うのが理屈で
はいいでしよう。

板野中教員 差別的なことを言うた子が一人おって、自分
以外の子みんなが「そうじゃ、そうじゃ」ってその話で
盛り上がってきたときに、自分はおかしいなって思っ
るんだけど、それをみんなに言えるかどうかってこと。

言うべきだということとは分かってるんだけど、分かっ
ちゃいるが……。

板野中K もう一人ぐらい「おかしい。言わなきゃ」って
思うんがおつたらいけそうに思うけど、一人だったら怖
いでしょね。

板野中教員 ということとは一体どういう仲間になっていっ

たらしいのかが問題で、仲良し小良しではそういう風にな
ってしまふんじゃないかな。

部落解放同盟衆 今三年生が話をしてくれてるんだけど、
ある話題を提供しようと思えます。

昨日阿南市の教育長と交渉しました。なぜかという
と、高校では解放奨学金というものがあるんだけど、奨学
金を受給することを通して、運動で勝ち取ってきた意義
や歴史、目的を勉強して、部落問題に対する自分たちの
認識を深めてもらうために解放奨学金はあります。阿南
市ではある一部の市会議員さんが「奨学金は廃止。もう
差別はなくなってるんだから同和の奨学金なんかいらな
いじゃないか」という提案をして、今議会の中で議論を
している状況で、昨日それに反対するという形で教育長
交渉というのをやってきました。そのときにみなさんの
先輩、友の会などの高校生たちが一緒になって阿南市で
の奨学金を打ち切ってしまうという一部の議員さんの
動きに対して、教育長さんや市役所の人たちに絶対にそ
んなことをさせないようにしてほしいという強い交渉を
してきました。教育長さんもそのことを理解されて、議
会でその問題が出てきたら、はっきり解放奨学金の必要

なことを訴えて存続していくようにします」と。そんな交渉を昨日してきたばかりです。みなさんは地域の先輩や親たちがどんな思いで解放奨学金の制度や学習会の制度を勝ち取ってきたのか。みんながここで話ができているのは学習会があるからです。また地域の中では環境改善したりしてムラがよくなっていくわけです。そういう運動をどんな思いでしてきたのかっていうこと。一番大事なのは自分の親の生きざま。さっき全体会の中でも「親が反対する」「あまり賛成してくれないんだ」という話が出てきました。「まだお父さんお母さんの中には部落差別を憎む気持ちがとてもできていない」という親たちもいます。そういう親たちはあまりにも差別が厳しいので、差別から逃げることで生きてきたわけですね。私も四十五、六歳までは部落差別からずっと逃げてきました。しかし、差別はなんぼ逃げてても逃げてても追いかけてくるわけですね。ですから前に向かっていかないと、差別はなくなるらないのだということを、私自身解放運動をする中で実感してきました。

奨学金を獲得するためにどんな思いで闘ってきたのかということを例を挙げてお話ししようと思えます。これ

は大阪の例なんです。昭和三十三年くらい、全国的に当時の被差別部落は貧しい生活があったわけです。そんな頃の大阪のある被差別部落で、親たちは廃品回収で生計を立てていました。毎日毎日仕事があればいいんですが、仕事がないときがあります。食べるのが精一杯という状況の中で、子どもたちは学校へ通っていました。今でこそ教科書は教育委員会のほうから無償でもらって勉強していますが、その当時は教科書もPTAの会費も給食費もぜんぶ親がお金を出さないとだめだったんです。それで、学校で集金をするときがあります。先生が朝出席をとるときに集めるわけですが、家にお金がある人は持つてこれるわけですが、お金がない人は「忘れました」と言って先生にいいわけをするわけです。先生は「次は持つてきなさいよ」と言い、また「忘れました」と言い、それが何日も続くと、先生も何度言っても言うことを聞かないのでクラスでその子たちのことについて話し合うことになったわけですね。そして、今度忘れたら運動場を走らせるとか、廊下に立たせるとかいう罰を与えることにしたわけです。しかし、やはり次の日も持つてこない。なぜ持つてこないかということ、食べる米さえ十分に

ない状況ですから、お母さんに学校でお金がいるということをお言えないのですが、先生やクラスの間はそのことが分からないわけです。それで先生は、仲間がなんぼ言っても分からないのなら、首にブラカードをかけて「給食代を忘れた子」と書かれていたんですが、廊下に立たせてさらし者にしてみんなに笑われるわけです。あまりに悔しくて子どもは泣いて家に帰るわけです。そしたらムラの青年たちがそのことを聞いて、腹を立てるわけです。「家の中でお父さんお母さんが一生懸命働いても子どもに学用品も買ってやれないし、給食代も渡してやれないような生活がその子の家庭の中にあるのに、そんなことを全く知らない先生や友達が部落の子をいじめてけしからん」ということで学校に抗議をしに行くことになりました。「私たちが友達と引け目をとらないように勉強できるようにしてほしい。給食もみんなとおいしく食べられるようにしてほしい」と。でも給食食べてたら、「給食代も払わんと夕ダ食いすな」と食べてる物を取りあげたり、そんなことがあったのです。

そこで、そんなみじめな思いをしてきたのはなぜかということをお母さんの先輩たちは考えました。非常に貧しい

生活が私たちの周りにあるのはなぜだろうかということ。働いているお父さん、お母さんは教育がしっかり受けられなかった。読み書きがしっかりできないので、それらが必要などころでは働けず、安定した収入が得られず貧しい生活を余儀なくされる。こういうことで差別が私たちの生活を奪っていることに気づき、もつと国に対して働きかけていこうということで、教育を「部落」の子がきちんと受けることができるように運動を始めたわけです。最初は教科書や学用品を揃え、みんなと同じように勉強できるようにしていこうという運動でした。しかしそういう中で、お母さんは学校へ行けてないわけですから、家で勉強を教えてやろうにも教えられない。学校が終わったあとで、分からないことがあったら教えてくれる人がいないわけですから、学校の勉強ができなくなってしまう。もつともつと勉強ができるように、自主的に学習ができるようになるために、みんなが学んでいけるように同和教育主事や学習会専任指導員をおいて、生きるための学ぶ力を身につけることができるようにと運動をしてきました。差別を受けてきたみなさんの先輩が差別をはねかえしていく運動の中で、奨学金や学習会

の制度を作り出してきたのです。お父さんやお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、「部落」の私たちがみなさんに願うことは、まだまだ差別はこの世の中に厳しくあるんだということを知ってほしい。差別を受けているのは自分たちだということをまず知っていくことが大切なんです。知ったらその差別に対して自分はどう立ち向かっていくのか、それとも負けて逃げていくのかということに決断が迫られるわけです。今日は中学生集会に積極的に参加しているみなさんですから、みんな差別に立ち向かっていくという気持ちで来ているわけですから、仲間の話が出てきましたけど、まず自分が差別に対して絶対後ろを向かないということをしっかり持ってほしい。仲間ががんばるからがんばるというのは、非常に弱い仲間にはかならない。自分自身が差別に対して立ち向かっていくということを自分の中で作っていかない限り、差別をなくしていく仲間づくりはできないと思いますので、学習会での仲間づくりは差別に対して絶対後ろを向かず、前に向かって勉強していくんだということを、みなさんの中に持ってほしいと思います。

司会者② それではこれで終わりたいと思います。